

# 追跡レポート

## 「救急医療情報キット」の普及状況は



▲救急医療情報キットの中身（シールとシート）

平成23年12月定例会の一般質問での提案から導入が実現した「救急医療情報キット」。救急医療情報キット配布事業として、65歳以上の高齢者や障がい者が安心して暮らせるよう、希望者に無料で配布されており、現在、304本が配布され、403人の方が活用しています。

日常生活でどのように活用されているのか、地域に密着して活躍されている民生委員さんにお話をお聞きしました。

一人暮らしの方に当たりました。役場に行けない方には、委任状でキットをもらってきて「コピー（健康保険証・おくすり手帳）でいから入れといてね」と、丁寧に説明をしてシールは玄関扉の内側や冷蔵庫の扉に貼ってねと伝言しました。これでは限りがあると自治会長に相談し、「自治会挙げてやっているところがあるからやりませ

■キットをご存じになっただきつけは  
平成24年3月ごろポータルサイトの研修会で知りました。自治会挙げて普及しているところもあることを聞いて播磨町も早く導入してほしいと感じました。

半年後、播磨町でも10月から実施すると聞き、いい事だと思いました。希望者に配布しています。現在、町としては広報で知らせていますが、知っている人は少ないのではないかと思います。

■民生委員としてのかわり  
健康保険証・おくすり手帳）でいから入れといてね」と、丁寧に説明をしてシールは玄関扉の内側や冷蔵庫の扉に貼ってねと伝言しました。

■思ったことは  
元気なシニアの方が多くいますが、皆さんの家にも一つあってもいいと思います。

■利用されている方の感想は  
今このところ救急車で搬送された方はいませんが、皆さん安心していられているとおっしゃっています。

心・中学校の扇風機とミストシャワーはどうなったの？

【扇風機】  
天井の配線など大きな工事を伴うため、夏休み中に設置工事を行います。約750台の扇風機は確保できているので、9月2日から使用できる予定です。

【ミストシャワー】  
6月29日から工事を行い、7月の1週目には使用できます。

議会だよりが届くころには、子どもたちはミストシャワーを体験していることでしょうか？  
涼しかったですか？

■聞いたことは  
元気がシニアの方が多くいますが、皆さんの家にも一つあってもいいと思います。

■利用されている方の感想は  
今このところ救急車で搬送された方はいませんが、皆さん安心していられているとおっしゃっています。

▼お問い合わせ先  
福祉グループ  
☎079(435)2309

## ごみ処理広域化の中止を

日本共産党  
松岡 光子

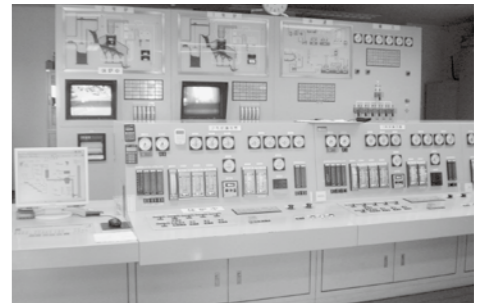


### さらなる減量に取り組む

環境や人体への影響を考えると焼却に重点を置く広域化は中止し資源化を。ごみ減量・資源化を目指す運動「ゼロ・ウェイスト」に市民の協力で取り組む考えは。

問 広域化実現可能性調査では、経費削減と環境負荷軽減が見込まれるとあり、さらなるごみ減量化については「ごみ処理広域化基本計画」のなかで目標を立てて取り組む。

問 焼却炉建て替えの際には、住民参加・合意を前提にするべきでは。全員



▲塵芥処理センター制御室

協議会でも参加の必要性について発言がある。

答 実現可能性調査業務報告書に計画策定への住民参加を記述しており、報告書に沿った形で進めるよう検討する。

町民プールの存続検討を三村 二丁を重視して  
問 プールは埋め立てによって消滅した水辺の環境を取り戻し、住民が運動や水と親しみ憩う場所、福祉のために整備された施設であることを重視して、いろいろな角度から総合的に検討を。

答 住民のニーズを重視し、播磨町民プール検討委員会であり方や整備方針などを検討協議する。小中学校のプール改修は別途考える。

室内プールとしては都市公園内では制約があり、すでに健康いきいきセンターにもある。

その他の質問  
▼子宮がん検診について

## 窓ガラスの飛散防止を

公明党  
木村 晴恵



### 大規模改造工事の際に予定



▲飛散対策が急がれる校舎の窓ガラス

問 各学校は避難場所にも指定されている。二次災害が起こらないよう、窓ガラスの飛散防止策が必要。まず、避難路となる廊下に面する窓ガラスを強化ガラスへの取り換えや、飛散が抑えられるフィルムの貼り付けでケガ防止にもつながる。環境を整えるべきでは。

答 災害時における減災の観点から大切であると認識している。すべての学校園施設の窓ガラスに、一挙に飛散防止の対策を

講じるためには多額の費用などが必要となることから順次、校舎などの大規模な工事の実施の際に強化ガラスに変え、飛散防止対策をとる予定。

風しん予防の自己負担軽減を町長 流行を防ぐために対象者を広げる

問 県と町がそれぞれ2500円を定額補助としているが、町が5000円の補助をすれば、個人負担は2500円になり軽減される。独創的な施策を考えるべきでは。

答 流行を防ぐことに重点をおき、年齢制限を設けず対象を広げて希望する方に補助する。

問 希望者が、予定人数を超えた場合は。

答 あらためて補正予算で考える。

その他の質問  
▼省エネ対策として、LED照明の導入について  
▼播磨南高校開校30周年について